

韓国併合から100年・植民地支配の清算へ 記憶・責任・未来という言葉を知っていますか？

今年、2010年は韓国・朝鮮を植民地支配した「韓国併合条約」締結から100年にあたります。

自民党政権下では被害者個人への戦後補償は十分なされませんでした。

ドイツが行なった「記憶・責任・未来」基金のような「過去清算」を行なうラストチャンスかも知れません。市民レベルで考えましょう。

日時 3月28日(日)

14時～17時

場所 エルおおさか(701号室)

京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅下車5分

参加費 500円



ドキュメンタリー上映 「考えてみよう靖国問題」

講演 「創氏改名に見る日本の植民地支配」

水野直樹さん(京都大学教授)

報告 「創氏名での合祀を問う・韓国人靖国合祀拒否訴訟の今」

「戦後補償立法の展望」

フリートーク

水野直樹さん 朝鮮近代史、東アジア関係史を専攻

著書「創氏改名 - 日本の朝鮮支配の中で」「日本の植民地支配 - 肯定・賛美論を検証する」

主催 在韓軍人軍属裁判を支援する会・日本製鉄元徴用工裁判を支援する会・平和と生活をむすぶ会

共催 「韓国併合」100年市民ネットワーク

連絡先: 古川(090-1135-1488) 中田(090-8482-9725)